

# 赤堀小の窓

## 教育目標

やる気：意欲的な子ども

思いやり：協力し合う子ども

ねばり：最後までやりぬく子ども

## ひとりひとりのよさが輝く運動会

10月18日(土)の運動会では、大変お世話になりました。ひとりひとりのよさが輝く運動会になりました。閉会式では、以下のような話をしました。

児童のみなさん、大変よくがんばりました。

どの競技も演技も、ひとりひとりのよさが輝く素晴らしいものでした。

- ・力を出し切ってがんばった自分に拍手を送りましょう。
  - ・一緒にがんばった仲間や友達に拍手を送りましょう。
  - ・お世話になった先生方、応援してくれたお家の方々に感謝の気持ちで拍手を送りましょう。
- ひとりひとりのがんばりと、みんなの協力で、とてもいい運動会になりました。



保護者の皆様、最後まで応援、ありがとうございました。

子供たちは、どれも立派にやり遂げました。ひとりひとりに確かな成長がありました。

ご家庭に帰ってからも、今日の感動を一緒に振り返り、子供たちの成長と一緒に喜んでください。

児童のみなさん、運動会は終わりましたが、今日できたことを自信にして、明日からの学校生活に生かしてください。そして、自分の力でできることをどんどん増やしていきましょう。

保護者のみなさまにおかれましては、お忙しい中にもかかわらず、朝早くから大勢参観していただきありがとうございました。

## 人権集中学習

本校では、11月5日から12月8日までを人権集中学習期間と位置づけて、人権に関する様々な学習活動を行い、子供たちの人権に対する意識の高揚を図ります。

そこで、11月5日の朝礼で、以下のような話をしました。



『みんなが笑顔で生活している学校は、人権が守られている学校』と言うことができます。人権というのは、だれでももっている、明るく・たのしく・幸せに生きる権利のことです。』という説明の後に、以下のように話しました。

先週、あいさつ運動がありました。そこでは、元気よく笑顔であいさつする姿がありました。赤堀小のよい子は、大変よいあいさつができていますが、一方で、叫んでしまったり、「こんにちは、こんにちは」とかけ声になったりしている人もいました。これは、心のこもったあいさつとは言えませんので注意が必要です。

さて、話を戻しますが、実は、「あいさつ」というのは、人権尊重の第一歩とされている大切な行動なのです。



みなさんの中には、校長先生にあいさつしてくれる人がいっぱいいます。中には、前で立ち止まって、笑顔であいさつしてくれる人がいます。校長先生よりも先に、立ち止まって「〇〇先生、おはようございます」と、笑顔であいさつできる人がいます。校長先生も立ち止まって「おはようございます。」「とっても礼儀正しいですね。」と笑顔であいさつします。こういうことがあると、校長先生は、その瞬間から、とってもいい気持ちになります。そして、幸せな気持ちで一日を過ごすことができます。だから、校長先生も、その人のまねして、朝はゴミ拾いをしながら、明るく笑顔でみんなに「おはようございます。」と言うようにしています。すると、みんなも元気に笑顔であいさつしてくれます。やっぱり、いい気持ちになります。笑顔のあいさつは、言われても・言っても、どちらもいい気持ちになります。幸せな気持ちで一日が過ごせます。

つまり、みんなが笑顔であいさつをしていい気持ちで生活したり、みんなが幸せな気持ちで生活したりしている場所は、人権が守られた場所なのです。だから、あいさつは、人権尊重の第一歩とされているのです。

赤堀小をそういう場所にしていきたいなと思っています。みんなの『笑顔のあいさつ』で赤堀小学校をよりよい学校にしてほしいと思います。そうすると、いじめもなくなっていくます。悪口やかからかい、けんかもなくなっていくます。お互いの違いを認め合って、助け合って生活していけるようになります。なにより、相手のことを考えられる思いやりのある子供でいっぱいになります。人権を大切に生活すると、「笑顔いっぱい 優しさいっぱい たのしい赤堀小学校」になっていきます。この人権集中学習の期間に、たくさん考えて、自分にできることを実行していきましょう。



## ◆陸上教室記録会



### 【赤堀小の代表選手が活躍しました】

10月8日(水)に、伊勢崎市陸上競技場で「第19回伊勢崎市小学校陸上教室記録会」が行われました。本校からは、5、6年生の代表選手が参加して、陸上競技で他校の選手と競い合いました。本格的な競技場で競技するのは初めての子供が多くいましたが、練習の成果を発揮して大変よくがんばりました。結果は様々ですが、真剣な表情で競技に向かい、自分の力を信じて全力で競技をする子供たちは大変立派でした。

28日(月)の「県民の日」には、正田醤油スタジアム群馬で「第52回群馬県小学校陸上教室記録会」が行われました。本校からは3人の代表選手が参加しました。当日は強風の中での競技でしたが、北風を味方にして力を発揮していました。やはり、結果は様々でしたが、大舞台でも堂々と競技をする姿は大変立派でした。

子供たちの能力は無限にあります。挑戦することで花開く能力があります。ぜひ、陸上競技に限らず、多くのことに挑戦して自らの可能性を広げてほしいと思います。

